

平成33年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実		課(室)名	道路整備課
	施策	拠点性を高める道路ネットワークの整備		電話番号	087-839-2517
	基本事業	集約拠点間のアクセスを向上させる道路ネットワークの強化		事業実施主体	市
	事務事業	街路事業（道路整備課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	都市交通における最も基幹的施設である都市計画道路の整備を推進し、利便性・安全性・快適性に優れた交通ネットワークの構築、円滑な道路交通の確保、及び豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図ることにより、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動、集約型都市構造の構築に寄与するものである。
-------	--

3年度概要	高松海岸線（玉藻） 木太鬼無線（木太、三条） 公園東門線 郷東檀紙西線、香西東町香西南町線 栗林上福岡線、兵庫町西通町線			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備


【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：都市計画道路 対象者：道路利用者（歩行者・自転車利用者、自動車利用者）及び道路周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	利便性・安全性・快適性に優れた道路交通ネットワークの整備を促進し、集約型都市構造の構築に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
単年度都市計画道路整備延長	m	580	676	227	161	2,160

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
都市計画道路整備率	%	目標値	89.2	89.5	89.6	89.7	89.8
		実績値	89.4	87.8	86.1		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 木太鬼無線（西春日・鶴市工区）の供用を開始するなど都市計画道路の整備を進めたが、高松海岸線の4.450m延伸により、全体整備率は減少した。 （目標達成度） 							(達成度) 96.1% 33点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成33年度（予算）
トータルコスト	[円]	739,019	1,066,240	587,940	1,224,883
（事業費）	[円]	680,922	1,010,096	522,907	1,158,337
（職員人件費）	[円]	58,097	56,144	65,033	66,546

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成30年度は、木太鬼無線（西春日・鶴市工区）を供用開始するほか、木太鬼無線（三条工区）や朝日町仏生山線の用地買収を進めた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後は、8路線9工区について計画的に整備を進める。一方、国費等財源を確保するために繰越を縮減するとともに、パッケージ計画の見直しや国への要望を強化していく。

平成33年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価 担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実		課(室)名	都市計画課
	施策	拠点性を高める道路ネットワークの整備		電話番号	087-839-2455
	基本事業	集約拠点間のアクセスを向上させる道路ネットワークの強化		事業実施主体	市
	事務事業	街路事業（都市計画課分）		事業期間	平成30年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	前回の都市計画道路網の見直しから10年以上が経過しており、都市再生特別措置法に基づく「立地適正化計画」や地域公共交通活性化再生法に基づく「地域公共交通網形成計画」の制度化等により、公共交通を基軸とした集約型都市（コンパクト・クラス・ネットワーク）の構築に向けた取組がより一層求められており、新県立体育館や新駅整備など、新規事業への対応も含めた都市計画道路ネットワークとしての必要性に変化が生じているため、都市計画道路網再編を実施する。
-------	---

3年度概要	街路事業費				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：都市計画道路 対象者：高松市民、交通事業者
意図（どのような状態にしたいか）	都市計画道路の新設路線及び未着手路線の必要性や課題を評価し、新設、計画の存続、変更、廃止等の方向性と、今後の整備優先順位等について明確化する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
委員会開催回数	回			3	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
	計画策定までの進捗率	%	目標値			100	100	100
			実績値			30		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							（達成度） 30.0% 10点
	学識経験者を含む都市計画道路網検討委員会を設置し、計3回開催している。検討委員会では、道路交通センサデータを活用した都市計画道路の将来交通量推計等の結果を用いて、都市計画道路の未着手路線の必要性や課題を評価し、計画の存続、変更、廃止等の方向性を示した。							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[千円]			4,310	11,010
（事業費）	[千円]			0	6,700
（職員人件費）	[千円]			4,310	4,310

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

都市計画道路網の再編については、パーソントリップ調査や公共交通利用者のICカードから得られる人の移動情報を活用し、自動車交通の視点だけでなく、歩行者や公共交通を含めた最適な道路ネットワークの構築を図りたいと考えている。
